

根の民・山陰研究会

島根という名は国引き神話の神ヤツカミズオミツノミコトの命名が由来という。また、大和島根という言葉は日本国のことを指すそうだ。朝鮮半島に近く、宍道湖、中海を擁した豊饒の土地、島根半島は古代日本の文明の玄関口となって出雲王国が大いに栄えたようである。そんなことを考えてみると、ああ島根ってきっと日本の根っこなんだなと嬉しくなってしまう。そんな島根に住んで絵描きをする我々は、やっぱり根っこのある絵を描かねばな、などと思うのである。

だが、自分の根っこを掴まえるのは以外に難しい。それは結構あやふやだったりもするから。でもみな好きで始めた絵だ。なんとか掴まようとして、何を？如何に？と迷い苦しみながらも描き続けている。そんな日々の中にこそきっと見えてくる根っこがあると思うのだ。

活動

島根半島・中国山地等へスケッチ会
作品持ち寄り勉強会等

42回山陰研究会展 2018 11/28 ~ 12/2
島根県立美術館にて
2019年 受賞作家展開催予定！！



絵画、版画あわせて現在 11 名の研究会です

春陽会 山陰研究会



SHUNYO-KAI ART SOCIETY



島根県立美術館

主任
〒691-0074
出雲市小境町147
梶谷修弘

連絡先事務局 〒690-0011
島根県松江市東津田町 622-2
三島耕二 Tel 080-3052-7865